

佐渡市立図書館の開館時間に関する今後の方針について

1 実施結果

(1) 両津図書館利用者数

貸出人数が、令和3年度の1日平均100.3人であり、令和4年度は22.9人増加の123.2人である一方で、貸出人数は令和4年度が32.9人、令和3年度が32.8人とほぼ横ばいとなっている。学習や閲覧利用について増加傾向にあると思われる。

延伸をした17時～18時までの2時間の利用者平均は、来館者数で13.0人、貸出人数で2.9人と一定の成果はあったものの利用が伸び悩んだ。

周知不足、コロナの感染拡大などもその要因として考えられ、利用者のニーズの断定に至らなかった。

*平成31年1月両津図書館、移転開館、令和1年12月～新型コロナウイルス感染拡大

(2) アンケート

令和4年7月1日～8月31日まで佐渡市内の図書館・図書室の来館者を対象に実施。380人からの回答を得られた。希望の開館時間について、現状の17時閉館を希望する意見がもっとも多かったものの、半数以上が17時閉館より遅い閉館時間を回答している。

(3) 職員からの報告

- ・仕事帰りの利用者に喜ばれた。
- ・両津地区公民館や佐渡汽船の利用に合わせ、来館したケースも見られた。
- ・学生（中高生）の夏休み期間中は閉館近くまで勉強での利用があり、学習機会の提供につながっていると感じた。
- ・利用者は学習・本の貸出・返却がほとんどで、レファレンスはあまりなかった。
- ・利用者の半数くらいは、18時頃には退館されていたように感じる。
- ・小中学生のみで来館し、19時まで在館するケースが複数回見られた。児童のみでの在館に不安を感じた。
- ・今回の利用人数であれば、職員1名でも可能と思われるが、両津支所内での不審者情報もあり、女子職員1名での勤務は防犯上、不安がある。

(4) 職員配置及び費用

17時～19時までの間を勤務する会計年度任用職員を2名配置した。

人件費の他、光熱水費等がかかっているが、光熱水費等については分けることができず不明である。

2 今後の方針について

図書館の開館時間については、市民のニーズを調査し、予算や試行結果を踏まえた利用者数予測（費用対効果）、従事する職員の確保、小中高生の利用者の安全性の確保を総合的に考慮し、図書館協議会での意見を聞きながら、令和7年度を目標に、開館時間について方向性を出していきたいと考えています。

令和5年度については、7月1日～8月31日まで、中央図書館とさわた図書館の2館で、平日の閉館時間を19時に試験延伸。

同時期に開館時間に関するアンケートを実施していきたいと考えています。

(1) 試験延伸の時期等に係る選定理由

①延伸時期

- ・両津図書館から、夏休みに入ってから利用増と報告があった。
- ・9月以降は日が落ちるのが早くなり、児童生徒を安全な帰宅に懸念がある。

②延伸時間

- ・アンケートからも19時以降の延伸を望む声は少ない
- ・両津図書館から大半は18時に退館と報告があった。

③実施館

- ・佐高生の学校帰りや職場帰りの利用が期待できることから、さわた図書館と中央図書館を選定。
- ・さわた図書館については学習場所の確保が必要であることからコロナ前の座席数を確保したい。
- ・中央図書館は学習室があり、また講座室を学習室として開放可能
- ・中央図書館は現在、18時閉館であるが、閉館時間以降、テスト期など玄関先で迎え待っていることもあり一定のニーズが想定される。

(2) 周知方法

- ・市報さど
- ・SNS (LINE、Facebook、Twitter)
- ・市ホームページ
- ・中学校および高等学校を通じ文書通知

(2) 開館時間に関する検討内容

- ・閉館時間、開館時間、実施時期ほか